

2025(令和7)年12月24日

各関係機関の長 殿

国立大学法人東北大学
大学院国際文化研究科長 刘庭秀
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、教育担当の助教を下記により公募することになりました。

つきましては、ご多用中のところ誠に恐縮ですが、貴職関係方面へ周知方よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職名・人員 助教 1名

2. 専門分野 英語教育

3. 担当科目 全学教育科目：英語（前後期合わせて16コマ）

4. 応募資格

(1) 本研究科において教育および研究に従事する資格を有すると認められる者であり、博士の学位を取得していること。また、大学等の高等教育機関において1年以上の英語教育経験を有すること。ただし、他の条件において特に優れていると認められる場合には、この要件を緩和することができる。

(2) 国籍は問わないが、日本語および英語において上記の業務を遂行できる能力を有すること。

5. 雇用形態

(1) 本人事によって採用された者には裁量労働制を適用する。

(2) 任期は1年とする。延長の可能性あり。

6. 採用予定日 2026年4月1日

7. 提出書類

(1) 履歴書1部（本学所定の様式、写真添付）

様式は研究科HPの「教員募集」ページからダウンロードしてください。

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/faculty-recruitment/>

(2) 教育・研究業績一覧表（様式自由）

教育業績については授業の担当先、授業科目名、担当コマ数を明記すること。また、研究業績については著書、論文、学会発表、その他に分け、査読の有無を明記すること。

(3) 主要論文3編のPDFデータと、当該論文の概要（論文毎に日本語で300字程度）

(4) これまでの教育経験と本学着任後の英語教育に関する抱負

A4判1~2枚程度にまとめること。

(5) 必要に応じて、ほかに資料の提出を求めることがある。

8. 応募締切 2026年 1月 16日 (金) 17:00 (必着)
9. 選考方法 書類選考後、面接を実施する。
*面接に要する交通費は、支給しない。
*面接は対面を原則とするが、海外居住者についてはオンライン形式で行うことがある。
10. 書類提出先 【電子メール】
int-som*grp.tohoku.ac.jp (送信時には「*」を「@」に置き換えること)
*提出書類一式をパスワードを設定した PDF ファイルにして（個別でも、まとめてもどちらでもよい）、上記のメールアドレス宛てに送付すること。パスワードは、別途電子メールで知らせること。
*メールの件名は「応募書類（英語教育）」とすること。
*受理通知を必ず確認のこと。なお、送信日から 2 日後（土日祝日、その他休業日を除く）までに受理通知が届かない場合には、必ず電話で問い合わせをして、応募書類の着信の有無を確認すること。
*応募書類は原則として返却しない。
11. 問合せ先 東北大学大学院国際文化研究科総務企画係
電話 022 (795) 7541
F A X 022 (795) 7583
電子メール int-som@grp.tohoku.ac.jp
東北大学大学院国際文化研究科については、下記のウェブページをご参照ください。
<http://www.intcul.tohoku.ac.jp/>
12. その他
- ・ 東北大学は多様性、公正性、包摂性 (Diversity, Equity & Inclusion : DEI) を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。
東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>
 - ・ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
 - ・ 学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学ーみんなが主役ー多様な性に関するガイドライン」を制定しています。
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ
https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/
 - ・ 東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員 22 名）及び青葉山みどり保育園（定員 116 名）の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園（定員 120 名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。
また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。
 - ・ その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ
https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/
人事企画部 WEB ページ
<https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>